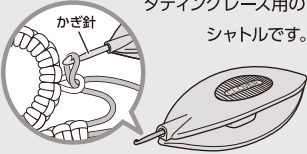


かぎ針付 タティングシャトル

使い方説明書

ピコットをつなぐ時など、糸を引き出す作業に便利なかぎ針が先端に付いたタティングレース用のシャトルです。

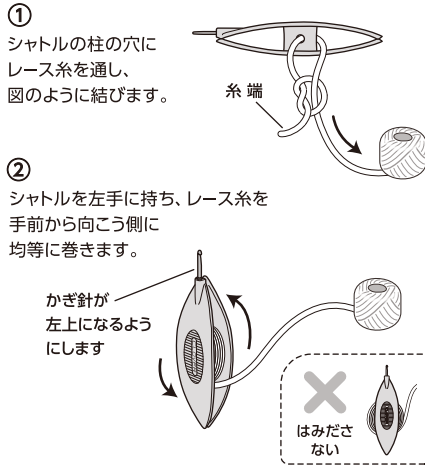


- No.8** シャトルの色：ピンクベージュ
かぎ針の太さ：0.90 mm
[太めのレース糸(#10~#50)]に適しています。
 - No.12** シャトルの色：アイボリー
かぎ針の太さ：0.60 mm
[細めのレース糸(#60~#100)]に適しています。
- (※糸の太さは、メーカーによって異なります。)

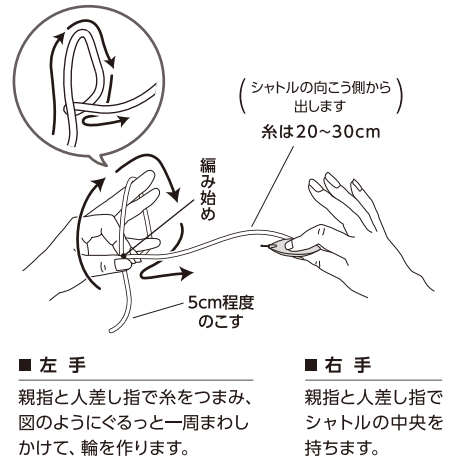
使用上の注意

●用途以外のご使用はお避けください。●過度の力が加わると破損の原因となります。●金属部分を強く引っ張ったり、ねじったりすると、抜ける恐れがありますのでご注意ください。●お子様の手の届かないところに保管してください。●針先は鋭いので、保護チューブをはめて保管してください。

糸の巻き方



リングを作るときの持ち方



左手

親指と人差し指で糸をつまみ、図のようにぐるっと一周まわしかけて、輪を作ります。

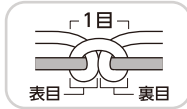
右手

親指と人差し指でシャトルの中央を持ちます。

基本の結び方

*糸はつながっていますが、図を分かりやすくするため、指で押さえたところからシャトル側の糸の色を変えています。

表目と裏目のセットで
1目になります



糸のくぐらせ方

シャトルで糸をくぐらせるとき、シャトルから指を離さずに行くとスムーズな動作になります。



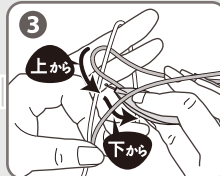
表目の結び方



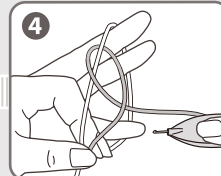
シャトルを持った右手の糸を小指側から手の甲の上へ回します。



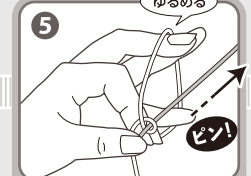
シャトルを指で持ったまま、左手にかかった糸の下側をくぐらせます。(左手にかかった糸が右手の人差し指の腹とシャトルの間を通ります)



2でくぐった糸の上を通り(左手にかかった糸が右手の親指の腹とシャトルの間を通ります)、右手の甲にかけた糸の下をくぐってシャトルを右へ引きます。



右手の甲にかけた糸をはずします。



左手の中指を曲げて糸をゆるめ、シャトルを引き、右手の糸をピンと張ります。

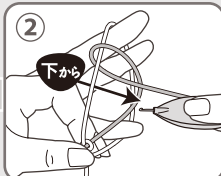


左手の中指をのぼして、できた目を人差し指の先まで引き寄せます。
[表目のできあがり] 表目に続いて裏目を結びます

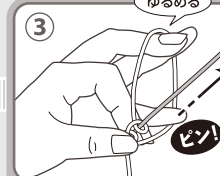
裏目の結び方



シャトルを指で持ったまま、左手にかかった糸の上側を通します。(左手にかかった糸が右手の親指の腹とシャトルの間を通ります)



左手にかかった糸の下側からシャトルをくぐらせ、右へ引きます。(左手にかかった糸が右手の人差し指の腹とシャトルの間を通ります)



表目と同じようにシャトルを引いて右手の糸をピンと張り、できた目を引き寄せます。
[裏目のできあがり]

Point!

右手の糸をピンと張ることで...
結び目に移ります
右手の糸(シャトルから出た糸)が軸糸になり、左手の糸が巻きついた状態にします



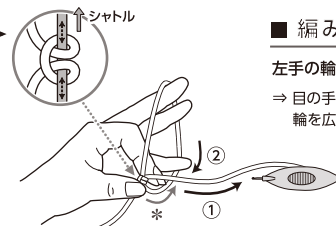
5で左手の糸をゆるませないまま、右手の糸を張ると結び目が移らず、左手の糸が軸糸になってしまいます。

1目結んだら、確認!

シャトルから出た糸(1)を引っ張ったとき、目の手前の糸(2)が動くかどうか確認します。

糸が動かないときは...

シャトルから出た糸が軸糸になっていません。
⇒ 表目の結び方5と裏目の結び方3ができていないか、確認してください。



編み進むと...

左手の輪が小さくなっていきます。
⇒ 目の手前の糸(*)を引っ張ると、輪を広げることができます。